平和記念だより 93

2024年10月

◆編集・発行/高松市市民局人権・男女共同参画推進課　高松市平和記念館
◆連　絡　先/〒760-0068 高松市松島町一丁目15番1号　たかまつミライエ5階
TEL(087)833-2211　FAX(087)833-2244

高松空襲展

令和6年6月28日(金)～7月7日(日)に平和啓発事業企画展のスタートとして、高松空襲展を開催しました。今回は、高松空襲の惨状を伝えるために空襲直後の市街地を撮影した写真や空から無数の焼夷弾が降り注ぎ、市民が逃げ惑う様子を描いた絵画など、約30点を展示しました。また、DVD「手記 空襲 1945 年高松」を映像学習室と高松ミライエ1階ロビーの二か所で放映して、来場者への平和意識の一層の高揚を図りました。さらに今年度はB29爆撃機による空襲だけでなく、艦載機グラマンによる空襲を取り上げ、「女神丸事件」や「陸軍林飛行場空襲」の解説を展示し、無差別攻撃の悲惨さを伝えました。書架閲覧コーナーにおいて、『女神丸事件』(著者　新城周子)、『えほん 高松空襲』(発行　高松市平和を願う市民団体協議会)等の本をおすすめの本として並べて置くことで、多くの来場者に読んでもらうことができました。

空襲を体験した来場者の方々から、「とにかく逃げまわった。実家は焼けたが命は助かった。」「グラマンの機銃掃射から畑の中へ逃げたことを祖母から聞いたことがある。」など空襲当時の様子について貴重なお話を聞くことができました。ご来場の皆様、ありがとうございました。

高松空襲展 参加者アンケートより

ご協力ありがとうございます！

私の祖母が女学校時代、高松空襲の中、高松市街から綾川町へと逃げたそうです。私は幼い頃からよく当時のことを聞いていました。とても怖くて、恐ろしくて。最近のニュースで、憲法改正のことや世界の戦争を見ていると、戦争が起きませんようにと願わずにいられません。そして祖母がつないでくれた命を大切にしたいと思います。

女神丸の展示に興味があって来ました。とても好きな高松―土庄航路で、このような悲しい事件があったことを知りました。当時の様子が生々しく想像され、胸が締め付けられました。

戦争ものの映画や本をよく観たり読んだりしますが、高松空襲の詳しいことは、今日初めて知りました。今の平和がどれだけ幸せか。婚約者が陸上自衛隊なので、とても他人事に思えませんでした。また来館して学ぼうと思います。

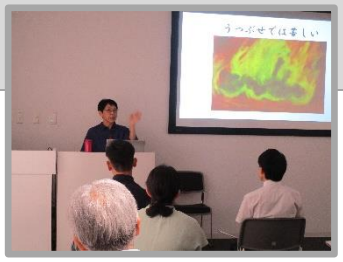
７月～８月に平和啓発事業各企画展・教職員のための平和教育講演会を開催しました。

高松市戦争遺品展　～武器なき戦士たち～

■開催場所：瓦町 FLAG２階コンコース
■開催期間：７月１２日（金）～７月１８日（木）
■展示内容：戦争に関する写真・パネル・資料等

戦時下の一般市民の生活「銃後の守り」に焦点を当て、『武器なき戦士たち』をテーマに、戦争遺品や写真など 60 点を展示しました。今年度は「戦争にならないように戦う」「金属回収と戦う」「女性たちが戦う」の３部構成とし、非戦闘員にスポットを当て、当時の苦労や工夫を紹介しました。

教職員のための平和教育講演会



■開催場所：高松市平和記念館
■開催日：７月 31 日（水）
■内容：高松空襲・太平洋戦争に関する講演

「高松市平和を願う市民団体協議会語り部部会」の杉村智子さんを講師にお迎えし、DVD「手記空襲」を中心に高松空襲や太平洋戦争についてご講演をいただきました。平和教育講演会後半は平和学習担当の職員が、高松市内の中学生を対象に実施している平和学習について説明しました。

原爆パネル展

■開催場所：市民交流プラザ IKŌDＥ瓦町展示コーナー
■開催期間：８月４日（日）～８月１０日（土）
■展示内容：原爆関連絵画と１６の問いのパネル

高松市平和を願う市民団体協議会と共催。核兵器廃絶を訴えるため、広島の被爆体験証言者からの聞き取りをもとに広島市立基町高校の生徒が描いた絵画２０点を中心に原爆関連資料を展示しました。併せて、戦争関連資料の「16 の問い」から平和について啓発するコーナーを設けました。

証言 高松空襲

あの日わたしは

証言⑩　小林克己さん

空襲が始まり、母、姉、妹、弟二人は、一団となって逃げた。すぐ下の弟(当時小学校４年生)は、犬二匹を連れて逃げた。父親は「栗林公園方面に逃げろ」と言ったが、母はとっさの判断で公園には向かわなかった。私は、空襲警報が夜に発令された場合、防空要員として学校に行くように言われていたので、父と二人でぎりぎりまで家に留まった。田町から藤塚町辺りまで燃えてくるのが見え、自宅の北側にある家も炎上した。前の家の屋根には不発弾が残っていた。火が近づいてきたので、父が「逃げよう」と言って逃げることになった。田んぼのあぜ道で火が収まるのを待った。

証言者プロフィール

■当時　中学１年生
■住所　栗林町
■家族　９人
　父母、子ども７人
■家業　精肉店

「あの日わたしは　高松空襲～当時を伝える証言者の声～」(高松空襲を子どもたちに伝える会)証言映像より編集

平和映画☆上映会のお知らせ

平和記念館映像学習室において、次のとおり平和映画を上映します(無料)。

10 月の上映 「一つの花」（23 分）

日　　時▶　開館日の土・日・祝日、午後 1 時～

解　　説▶　「一つだけちょうだい。おにぎりちょうだい。」ねだって泣き続けるゆみ子に、戦場に向かうお父さんは駅に咲くコスモスの花を一本とって「さあ。一つだけあげよう。一つだけの花、大事にするんだよ。」と言って列車に乗る。懸命に生きようとした家族の姿を描くアニメーション。

11 月の上映 「ボクとガク　-あの夏のものがたり-」（42 分）

日　　時▶　開館日の土・日・祝日、午後 1 時～

解　　説▶　小学生のボク(藤村希望)とガク(横田岳)を仲直りさせるために、一人暮らしの高齢者(美代)が語ったのは、八幡大空襲で亡くなった兄の話。空襲で亡くなった人々の分まで懸命に生きてきた美代の思いを知り、ボクとガクの絆は一層強くなる。平和と人権の大切さを訴えるアニメーション。

12 月の上映 「ガラスのうさぎ」（83 分）

日　　時▶　開館日の土・日、午後 2 時～

解　　説▶　母と二人の妹の命を奪った東京大空襲。焼け跡から猛火により変形した「ガラスのうさぎ」を掘り出した敏子は、死んでしまった家族のためにも、平和な世界の実現を願いながら、たくましく生きていくことを決意する。多くの人に読み継がれるベストセラーが原作の長編アニメーション映画。

※　都合により、上映作品・期間等を変更することがあります。

▼今後の行事予定▲

10 月

● **高松市戦争遺品等収蔵品巡回展**

期　日　令和６年１０月４日（金）・５日（土）

場　所　上天神文化センター

内　容　市民の皆様から寄贈された戦争遺品や高松空襲に関する資料等を展示

※　都合により、開催を中止・延期する場合があります。

収蔵品紹介 83

陸軍少年飛行兵志願の手引（りくぐんしょうねんひこうへいしがんてびき）

寄贈者　　中村　哲也 様

陸軍航空本部が発行したもので、「少年飛行兵の使命」「少年飛行兵の進路」「志願の資格」等が記載されている。本手引の出版年は不明であるが、1941(昭和 16)年以降、軍部より徴募依頼が活発になり、1942(昭和 17)～1944（昭和 19）年には国民学校等に配布されており、この頃のものであると思われる。志願年齢は満 15 才以上 17 才未満となっている。採用のための受験には、身体検査と学科試験があり、香川県内では善通寺市が唯一の試験会場となっている。少年飛行兵募集は、国民学校や青年学校が募集源であったため、少年兵の徴募は校長や教員の職務となり、教師による子どもたちへの働きかけが活発になった。「学校の教師たちは、教え子に死の配をした」と述べている戦争研究家もいる。

平和記念館「企画展示コーナー」で展示中

戦時用語解説 75

松根油

【読み】しょうこんゆ

【分類】戦時中の生活

松の根株を乾溜して得たのが松根油である。太平洋戦争下、制海制空権を奪われ、南方占領地区からの石油の輸送も困難を極めるようになった 1944(昭和 19)年、この窮状を打開するために松根油から航空燃料を生産しようと大政翼賛会の運動として、全国各県、市町村等に松根発掘量を割り当てるなどして強制した。松根油が航空燃料に適していたのは、高オクタン価(150 以上)を持っていたからである。高オクタン価でないと、高度数千 m～一万 m の上空では燃料が流れにくくなり最悪エンジンが止まってしまうのである。

しかし、当時は男手が少なく、女性や子どもによる慣れない重労働が毎日繰り返された。松根掘りで山は荒らされ、終戦まもない 9 月 17 日に上陸した枕崎台風が、西日本に山津波などの災害をもたらした。

参考：「戦前・戦中」用語ものしり物語
北村恒信　著　　光人社

編集メモ

ロシアのウクライナ侵攻から約 2 年 8 か月、さらにはイスラエルによるパレスチナのガザ地区攻撃が始まり、ＴＶ等のメディアを通して、戦禍に苦しむ人々の様子を日常的に目にするようになりました。避難民がいる地域がミサイルやドローン攻撃にさらされ、倒壊した街並みや運びこまれる市民の映像は、かつて日本が無差別空襲に遭った頃と重なります。今年度の平和啓発事業の「高松空襲展」「戦争遺品展」「原爆パネル展」に多くの来場者があり、戦争への関心の高まりを感じます。平和学習に臨む児童や生徒からも世界の紛争について関心ある感想が増えてきています。世界情勢に心を痛め、平和への願いを強くしている今、「平和を考える姿勢」を子どもたちから育んでいきたいと考えます。

たかまつミライエ

高松市平和記念館（たかまつミライエ５階）

開館時間：午前９時～午後５時（入館は午後４時 30 分まで）
休 館 日：火曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始12/29~1/3
入 館 料：無料
▼ホームページアドレス（平和啓発の推進事業がご覧いただけます）　▲QR コード
http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kurashi/shinotorikumi/jinken/keihatsu/heiwa/index.html

▶次回 94 号発行は、2025 年 1 月です。